

映画会

研究討論会

土木学会 土木技術映像委員会 主催

申込不要
入場自由

土木技術映像委員会では、広島大学・東北大学・福岡大学・北海道大学に引き続き、愛媛大学において3日間連続で映画会を開催致します。研究討論会テーマ「災害記録映像で学ぶ防災技術教育—技術教育における映像メディアの効果 その4」と連動し、東日本大震災の未曾有の被災を踏まえ、これまでに多数収集・評価された、土木学会映画コンクール受賞作品や土木学会選定映像作品の中から、災害記録映像を中心に、19作品を上映致します。

映画会会場：愛媛大学城北キャンパス
南加記念ホール

9/7 (水) 10:00~16:30

優秀作品・選定映像特集

9/8 (木) 10:00~12:20

四国・防災特集

9/9 (金) 10:00~12:30

震災・映画コンクール優秀賞特集

※多数の貴重な映像を上映いたします。詳細は裏面の上映スケジュールをご参照ください。



9/9 (金) 12:40~14:40 研究討論会会場：愛媛大学城北キャンパス
教育学部2号館103

災害記録映像で学ぶ防災技術教育 —技術教育における映像メディアの効果 その4—

座長：大野 春雄 (土木技術映像委員会委員長・建設教育研究推進機構理事長)
話題提供者：小河保之 (大阪府副知事), 有川太郎 (独) 港湾空港技術研究所海洋研究領域 上席研究官
正木啓子 (大阪ガス (株) 近畿圏部顧問), 富田 洋 (ジオ・サーチ (株) 代表取締役社長)



土木学会全国大会 2011

土木技術映像委員会 映画会・研究討論会タイムスケジュール

● 映画会・上映スケジュール

会場：愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール

上映日時	上映開始	上映時間	上映番号	上映作品	制作年	
9/7 (水)	10:00			映画会 開会のご挨拶 土木技術映像委員会委員長 大野春雄		
	10:05	27分	1	余部鉄橋の記憶	第23回土木学会映画コンクール部門賞（一般部門） 明治45年完成のトレスル橋梁	2007年
	10:35	20分	2	余部橋りょう さらなる100年へ	第24回土木学会映画コンクール最優秀賞 2007年3月着工後、過酷な自然環境のもと、営業線を運行しながら新橋を構築し、2010年8月12日に新たに生まれ変わるまでの工事の記録である。	2010年
	11:00	22分	3	昭和34年 伊勢湾台風	土木学会選定映像 過去最大の台風被害 想像もつかない高潮被害 死者5000人以上	2009年
	11:25	96分	4	佐久間ダム 総集編（オリジナルリマスター版）	土木学会選定映像 第9回毎日映画コンクール教育文化映画賞 観客動員数600万人 戦後復興の象徴	1958年
	13:00			ご案内		
	13:05	90分	5	パッテンライ！！～南の島の水ものがたり～	第23回土木学会映画コンクール最優秀賞 烏山頭ダムを建設し、台湾で半世紀を超えて人々が敬愛を抱く人物・八田與一氏の初アニメ化作品。ダムはセミハイドロリックフィル工法を採用、水路は総延長16,000kmで地球をほぼ半周する距離があり、完成当時東洋一と謳われた。	2008年
	14:40	39分	6	大地との対話 飛騨トンネル先進坑工事の記録	土木学会選定映像 高圧湧水帯におけるTBMの立ち往生、切羽の崩壊等の工事記録映画が見られる。	2007年
	15:20	17分	7	崩れ -大地のいとなみと私たち-	第22回土木学会映画コンクール部門賞（一般部門） 砂防 幸田文	2006年
	15:40	16分	8	忘れない、東海豪雨	第24回土木学会映画コンクール優秀賞 以後に続く都市型水害のさきがけとなり、この災害を契機に法整備や対策事業の見直しが進められた。	2010年
	15:56	26分	9	海峡をつなぐ夢 ポスボラス海峡横断トンネル	土木学会選定映像 ポスボラス海峡横断鉄道（総延長13.56km）建設の記録。	2008年
16:30			第1日目 映画会終了			
9/8 (木)	10:00			ご案内		
	10:05	35分	10	橋は生きている-一見島・坂出ルート架橋技術	土木学会選定映像 第29回科学技術映画祭・総理大臣賞受賞	1988年
	10:45	33分	11	未知への旅立ち -明石海峡大橋上部工-	土木学会選定映像 世界一の明石海峡大橋が完成にいたるまでをまとめている。	1998年
	11:20	27分	12	復旧の軌跡-阪神・淡路大震災土木施設の災害記録	土木学会選定映像 阪神・淡路大震災による土木施設の被害と復旧にテーマを絞った他にあまり類を見ない作品である。	1998年
	11:50	22分	13	昭和34年 伊勢湾台風	土木学会選定映像 昭和34年（1959年）9月26日、伊勢湾台風の緊急対策、災害復旧等をまとめている。	2009年
	12:12	8分	14	山が崩れる～地震と土砂災害～	土木学会選定映像 四国は山間部に多くの人が住んでいる。地震への備えは津波ばかりでなく、山崩れにも着目する必要がある。	2008年
12:20			第2日目 映画会終了			
9/9 (金)	10:00			ご案内		
	10:05	20分	15	阪神大震災による道路の被災と復旧	第17回土木学会映画コンクール準優秀賞 阪神・淡路大震災の道路の生々しい被災状況を震災直後に調査・収録している。	1995年
	10:25	24分	16	地域の安全を守る -水無川1号砂防ダムの記録-	第18回土木学会映画コンクール優秀賞 この砂防ダムは、堤長870mと日本一、着工から完成までの記録を噴火災害の迫力ある映像で紹介。	1998年
	10:50	16分	17	忘れない、東海豪雨	第24回土木学会映画コンクール優秀賞 以後に続く都市型水害のさきがけとなり、この災害を契機に法整備や対策事業の見直しが進められた。	2010年
	11:10	20分	18	余部橋りょう さらなる100年へ	第24回土木学会映画コンクール最優秀賞 2007年3月着工後、過酷な自然環境のもと、営業線を運行しながら新橋を構築し、2010年8月12日に新たに生まれ変わるまでの工事の記録である。	2010年
	11:35	56分	19	アフガンに命の水を -ベシャワール会26年目の闘い-	第24回土木学会映画コンクール最優秀賞 アフガンで長期にわたり医療活動を行ってきた医師・中村哲氏がアフガン大干ばつや、戦乱による多数の死者に直面し、医療による人命の救助のまにまに、水の安定供給こそが食糧・健康・環境・生活共同体への根本的な解決への道と思い定め、独力で水路建設に踏み切り、完成に至るまでの姿を描いたものである。	2009年
12:30			第3日目 映画会終了			

● 研究討論会

会場：愛媛大学城北キャンパス 教育学部2号館103

災害記録映像で学ぶ防災 技術教育 -技術教育における映像メディアの効果 その4-	9/9(金) 12:40～14:40
---	--------------------

研究討論会概要	<p>3月11日に発生した平成23年東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）は、未曾有の被災となり、土木関係者にもおおきな衝撃を与えている。今後復旧から復興へ向かう過程で多くの記録映像が制作されると思われるが、これらの貴重映像を土木学会としても確実に収集保管し、公開していくことは重要な使命のひとつとなる。当委員会では、これまでも技術映像の収集・調査・評価活動を行い、映画会などでの公開、土木図書館映像ライブラリーへの蓄積・保管をはかってきた。防災分野でも津波、地震、地すべり、水害などまたその結果起きる液状化、側方流動、土砂崩れ、堤防の決壊など様々な災害の貴重映像が蓄積されている。今回の大震災を踏まえ、防災記録映像の要素化とその活用法、土木技術教育への利用、要素ごとのデータベース化などについて映像とともに提案・紹介し、土木学会会員と意見交換を行う。</p> <p>座長：大野 春雄（土木技術映像委員会委員長・建設教育研究推進機構理事長） 話題提供者：小河保之（大阪府副知事）、有川太郎（独）港湾空港技術研究所海洋研究領域 上席研究官） 正木啓子（大阪ガス（株）近畿圏部顧問）、富田 洋（ジオ・サーチ（株）代表取締役社長）</p>
---------	---